

所信

ミッション 1.5 が、2023 年 7 月 1 日に発出され 3 年が経とうとしています。4 年目に入り最後の年となりますが、毎年のように「会員拡大」又「LCIF」の目標数が上がる中、会員の皆様におかれましては、会員拡大・退会防止とクラブ内又はメンバー自身が工夫しながらご尽力されている事に敬意を表する次第です。

第 2 副地区ガバナー・第 1 副地区ガバナーと、この間多くのクラブ訪問の中で沢山の方の意見を聞くことができた貴重な期間でありました。変えないといけないものは沢山ございます。しかし、ライオンズクラブは単年度の繰り返しであり変えようにも直ぐに変える事は非常に難しいところであります。

ライオンズクラブを支える 4 つの柱の内の 3 つの「会員拡大」「LCIF」「社会奉仕」は、各クラブが主役となって取り組んでおられる所に対して何も言えないもどかしさもございます。「社会奉仕」においては、各クラブでも見直さないといけないと思われる事もあると思います。それに対し、長年取り組んで来られた事業を次世代に継承していかないといけない事もあると思います。

しかし、「指導力育成」については 336-A 地区内で取り組んでいかないといけないと考えます。次世代を担う優れたリーダーを育てることでクラブ運営を円滑にし、より効果的・効率的な奉仕活動が可能となり又、会員個人の成長実感は会員維持率の向上にもなる事と考え、育成セミナー等を継続して参りたく思います。

そしてもう一つ、336-A 地区内にて継続していかないといけないものが、災害に備え減災への意識拡大に向けての活動強化です。被災地への支援活動はライオンズクラブの奉仕活動の主力を成すものであります。南海トラフ巨大地震の脅威が迫る中、災害発生直後の支援活動には限界もございます。ライオンズクラブとしては後方支援に徹しないといけないのではないかと思います。今まではアラート委員会の活動規定・災害時の行動マニュアル等が無い状態でし

た。今期、作成していただき今後はクラブ内又は地域内クラブとの連携を図り速やかな対応ができるよう心構えが必要と考えます。

しかし、災害が発生した時、過去の事例や災害時行動マニュアルを活用して行動しようとしても未曾有の災害と直面した時には役に立たないかも知れません。想定した訓練も中々出来るものではないのですが、後方支援と考えた時には炊き出しであれば継続ができ会員の皆様が経験を重ねる毎により迅速な対応が出来る事と考えます。336-A 地区が一つとなり出来る事業ではないでしょうか。

「四国は一つ」

会員の皆様が手を取り合って進んでいけることを心より願い全力で取り組んで参る所存です。